

令和4年8月31日

まちづくり委員会資料

生田緑地ビジョンの改定について

建設緑政局

生田緑地ビジョンの改定について

1 背景

・生田緑地は、昭和16(1941)年に都市計画決定された都市計画緑地であり、クヌギ・コナラを中心とした雑木林や、谷戸部の湿地、湧水等の貴重な自然資源が残されています。また、豊かな自然環境の中に、岡本太郎美術館、日本民家園、伝統工芸館、青少年科学館(かわさき宙(そら)と緑の科学館)、藤子・F・不二雄ミュージアム、春と秋に開苑するばら苑等の施設があります。

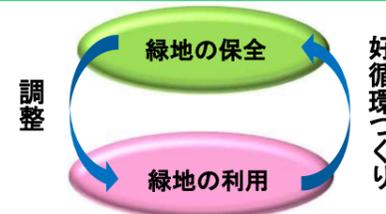
・平成23年3月に策定した「生田緑地ビジョン」に基づく基本理念『豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき緑が つなげる持続可能な生田緑地の実現』に向けて取組を進めてきました。

2 生田緑地ビジョンについて

生田緑地に係る様々な主体が共通の想いを持って活動や取組を進めることができるよう、誰もが共有できる生田緑地のめざすべき将来像を示す構想として「生田緑地ビジョン」を平成23年3月に定めています。

【基本的考え方】

緑地の存在効用(保全)を前提とした利用効用(利用)との調整により、両者が好循環する仕組みをつくる



【基本理念】

豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき緑が つなげる持続可能な生田緑地の実現

【基本方針】

1. 自然を守り、育む
2. 施設の魅力を高める
3. 効果的・効率的に管理・運営する
4. 多様な主体の輪を広げる
5. 周辺と協力しあう
6. 魅力を発信する

主な取組

【生田緑地マネジメント会議の取組等】

- ・全体会、運営会議の開催、市への提言(生田緑地の自然の保全・利用方針、生田緑地植生管理計画、「生田緑地ばら苑」再生について等)
- ・自然保全管理会議の運営、協働による植生管理や自然の保全活動

【施設の整備等】

藤子・F・不二雄ミュージアム、中央広場、ビジターセンター、周遊散策路、ゴルフ場クラブハウスの建替、青少年科学館の改築

【管理体制】

指定管理制度の導入による横断的な管理運営体制の構築

【多様な主体との連携、魅力づくり、情報発信等】

園芸まつり、森のマルシェ、食の祭典など地元事業者や企業と連携したイベント、サマーミュージアムの開催、ホームページ、SNSの活用

3 生田緑地ビジョン改定に向けた課題認識

社会環境の変化や遊園跡地の開発計画等と合わせて検討した「生田緑地の整備の考え方」、緑地周辺のまちづくりの進展に伴うまちづくりビジョンの策定等を踏まえて、**生田緑地の将来像の実現に向けて、生田緑地ビジョンを改定する必要があります。**

社会環境の変化等に伴う課題

【社会情勢の変化】

- ・国がまとめた「新たな時代の都市マネージメントに対応した都市公園等のあり方検討会」(H28.5)への対応
- ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた「新しい生活様式」への対応

【関連計画等】

・「川崎市総合計画」、「緑の基本計画」、「生田緑地の整備の考え方」、「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」、の整合等

【防災機能向上の必要性の増大】

・激甚化、高頻度化する自然災害等を踏まえて、緑地の防災機能を向上する必要性が増大

論点となる課題(行政の認識)

【魅力の向上に向けた検討】

・遊園跡地の利活用を踏まえた都市計画区域を変更しており、編入した区域や開発計画とも連携した検討が必要。また、施設の再編整備も見据えた管理運営体制を再検討する必要がある。

【市民協働による持続可能な管理体制の実現】

・ナラ枯れ問題により鮮明化したように緑地の基盤である雑木林を管理する体制を構築する必要がある。(担い手・財源・モニタリング等)

【『これからのコミュニティ施策の基本的考え方』との連携】

・多摩区では、地域で活動する団体などを支援し、地域の課題解決を促す基盤となる「多摩区ソーシャルデザインセンター」が発足しており、生田緑地もその活動場所として連携する必要がある。

※東生田2丁目については、地権者の方との丁寧な合意形成が必要になるため、議論の対象外とします。

4 検討体制

生田緑地ビジョンの改定に向けて、学識経験者で構成する「生田緑地ビジョン推進会議」と利用団体等で構成する「生田緑地マネジメント会議」により検討を進めます。

(1) 生田緑地ビジョン推進会議

- ・委員の構成: 学識経験者(造園、生態工学、文化、都市計画、地域コミュニティ)
- ・役割: 専門的な視点から意見聴取
- ・開催時期: R4.7から開催 全6回を予定

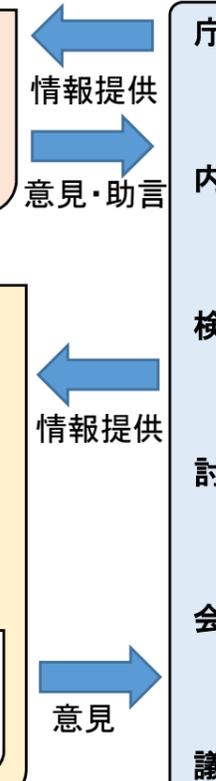


(2) 生田緑地マネジメント会議

- ・会員の構成: 生田緑地若しくはその周辺で活動している団体、企業等 22団体
生田緑地周辺の町内会・自治会・商店会等の地域団体、大学等 22団体
行政及び指定管理者等 19団体 計63団体
- ・役割: 生田緑地の価値と魅力の向上に向けた協議・調整・提言
「自然の保全・利用方針」及び「植生管理計画」への提言、活動団体等の活動計画及び活動の調整
公園の管理や改修・整備に係る調整

「生田緑地ビジョン」改定プロジェクト(R4.7から開催)

- ・メンバー構成: マネジメント会議会員のうち、希望する人
- ・役割: 緑地内外の活動団体等からの意見聴取



5 今後のスケジュール

目指すべき生田緑地の将来像の実現に向けて、有識者、関係する団体等の意見等を踏まえながら、検討を進めていきます。

